

地域
情報版



第5796号

●北海道新聞函館支社●

情報提供は ☎ 0138-32-5193
フリーFAX 0120-324-072
有料広告は ☎ 0138-32-5124

■みなみ風 写真提供■

☎0138・32・5118



写真は原則、写っている方とご家族に限り実費で販売します。お近くの道新販売店でも受け付け致します。

函館ゆかりの戦場カメラマン 岡村さん資料展

函館ゆかりのフォトジャーナリスト岡村昭彦さん(1929~85年)の函館での足跡や著書などを紹介する収蔵資料展が、函館市文学館(末広町)で開かれている。岡村さんの元恋人で渡辺淳一さんの小説「阿寒に果つ」のモデルになった画家加清純子さんに宛てたとされるメッセージ入りの写真集「これがベトナム戦争だ」が初公開されている。(大山愛弓)

市文学館で足跡紹介

加清さんが1952年に阿寒湖近くの山中で亡くなった後、岡村さんはトラピスト修道院(北斗市)で客室係として働いた。本の仕入れのために訪れた函館の栄文堂書店で店主の5女斎藤和子さんと出会って結婚。斎藤さんとの間に3人の娘が生まれた。54年に生まれた長女に岡村さんは加清さんと同名の「純子」と名付けた。

その後離婚し、PANA通信社のカメラマンとして、ベトナム戦争の最前線取材。65年にはベストセラーとなった「南ヴェトナム戦争従軍記」、写真集「これがベトナム戦争だ」を出版した。85年、敗血症のため、56歳で亡くなった。

会場には岡村さんが栄文堂書店で働いていた時代の店の外観や函館市内で撮られた岡村さんの写真、本屋の商売について書いた岡村さんの文章も展示されている。

「これがベトナム戦争だ」は、表紙の裏ページに「純子」これが僕の作品だよー君の生れた家でー1966・8・22 昭彦」と、写真集発売の翌年の年が記されている。3年前、岡村さんの長女の佐藤純子さん(63)の元に、写真集の持ち主から「岡村昭彦の会」(東京)を通じて連絡があり、この写真集の存在がわかった。持ち主はインターネットを通じて札幌の古書店から写真

純子！これが僕の作品だよ！

元恋人宛て 写真集公開

集を手に入れ、直筆のメッセージを見つけた。「純子」は佐藤さんのことを指すと思いい、「自分が持っているより、佐藤さんに持っていてほしい」と写真集を送ってきた。佐藤さんが写真集を確認したところ、筆跡は父のものだが、「純子」は自分のことではなく、札幌出身の加清さんに宛てたものだと思いついた。佐藤さんは1954年浜松市生まれで、写真集が贈られた66年は函館にいた。父から写真集を受け取った記憶はなく、「父は当時、講演会や写真展で各地を飛び回っていた。札幌に赴いた時に加清家

に行き、純子さんの仏前にあげたものではないか」と佐藤さんは推測する。メッセージ入りの写真集は「北海道にかわりのあるものなので、北海道に残したい」と佐藤さんが6月に同館に寄贈し、今回の展示に合わせて初公開されることになった。収蔵資料展では宮沢賢治作品の絵本出版で知られる函館の木版画家佐藤国男さんの作品も展示。「銀河鉄道の夜」「セロ弾きのゴーシュ」などの版画作品やエッセー集が並ぶ。展示は11月12日まで。入館料は一般300円、学生150円。



岡村昭彦写真集
これがベトナム戦争だ

AKIHIKO OKAMURA
THIS IS
血と泥沼とジャングルの中の人間の苦悩を鋭くとらえ、戦争の悲劇を世界に訴えるトキコメンタリー写真集



①岡村さんが元恋人に宛てたとされるメッセージ入り写真集を持つ佐藤さん
②函館にいた当時の岡村さんの写真や著書が展示されている会場